

2022年3月期
決算補足説明資料

東京インキ株式会社

(証券コード：4635 東証スタンダード市場)

2022年5月13日決算発表

1. 連結業績ハイライト 【P2 ~ P7】
2. セグメントの概況 【P8 ~ P13】
3. その他連結決算情報 【P14 ~ P19】
4. 株主還元 【P20 ~ P22】
5. 次期業績予想 【P23 ~ P24】
6. 参考情報 【P25 ~ P32】

TOKYOink

innovative = 革新的な
impact = インパクトのある
idea = アイデア
intellectual = 高い知性/知識を備えている
interesting = 好奇心を起こさせる
inspire = 人を奮い立たせる
infinite = 無限
invention = 新たに考え出す
imagine = 想像する 思い浮かべる

「i」を人に見立て、人に優しい企業、人に優しいものづくり、人を大切にする会社でありたいとの願いが込められています。また、この「i」には他にもさまざまな意味が込められています。



くらしに豊かな色を
くらしを支える確かな製品をお届けします

1. 連結業績ハイライト



2. セグメントの概況

3. その他連結決算情報

4. 株主還元

5. 次期業績予想

6. 参考情報

- > 22年3月期 連結業績ハイライト
- > 22年3月期 通期連結業績予想に対する達成結果

1. 22年3月期 連結業績ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きかった前年度と比較し、一定程度回復し増収増益、一方、業績予想に対しては、インキ事業、加工品事業の売上高が当初見込みよりも減少、原油高に起因する原材料価格高騰等の影響により営業利益も未達成

	21年3月期	構成比 (%)	22年3月期	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	業績予想 21年5月19日公表値	増減額	増減率 (%)
売上高	38,165	100.0	41,401	100.0	+3,235	+8.5	42,510	▲1,108	▲2.6
売上原価	31,969	83.8	34,650	83.7	+2,680	+8.4	—	—	—
売上総利益	6,195	16.2	6,751	16.3	+555	+9.0	—	—	—
販売費及び一般管理費	5,939	15.6	6,075	14.7	+136	+2.3	—	—	—
営業利益	256	0.7	675	1.6	+419	+163.2	800	▲124	▲15.5
営業外損益	365	1.0	222	0.5	▲142	▲39.1	—	—	—
経常利益	622	1.6	898	2.2	+276	+44.4	890	+8	+0.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	600	1.6	725	1.8	+125	+20.9	600	+125	+21.0
ROE(自己資本利益率)	2.5	—	2.9	—	+0.4	—	—	—	—
EPS(一株当たり当期純利益)	228.94	—	276.77	—	+47.83	—	—	—	—

1. 22年3月期 連結業績ハイライト

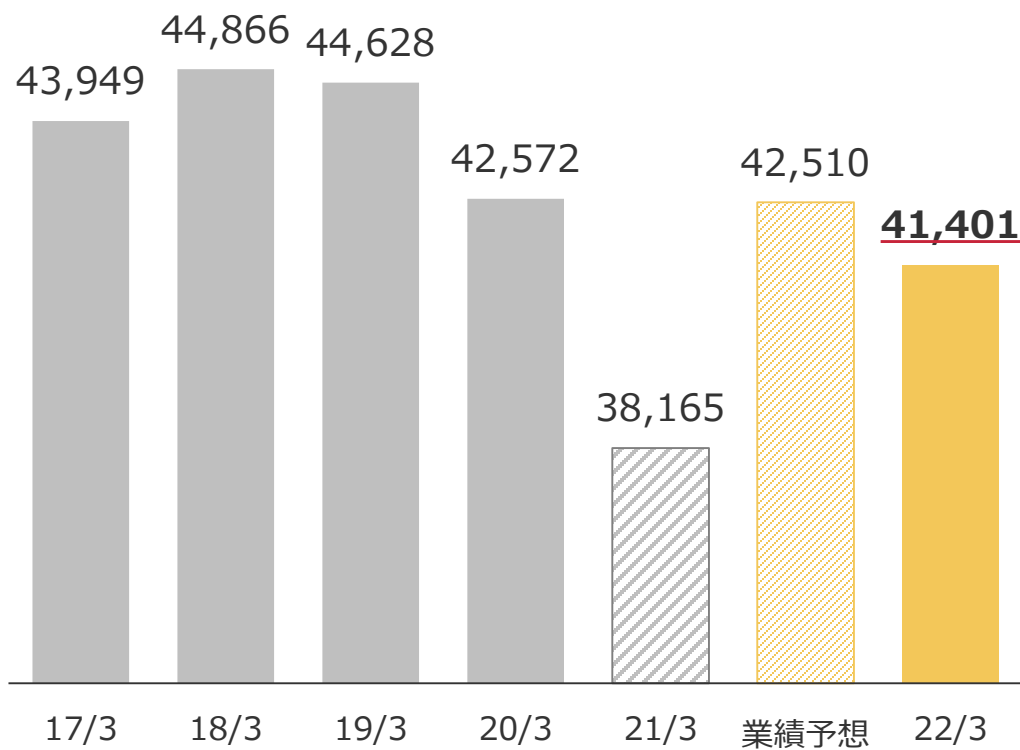
(単位：百万円)

売上高

41,401百万円

前年比 **+3,235**百万円 (+8.5%)

業績予想比 **▲1,108**百万円 (▲2.6%)



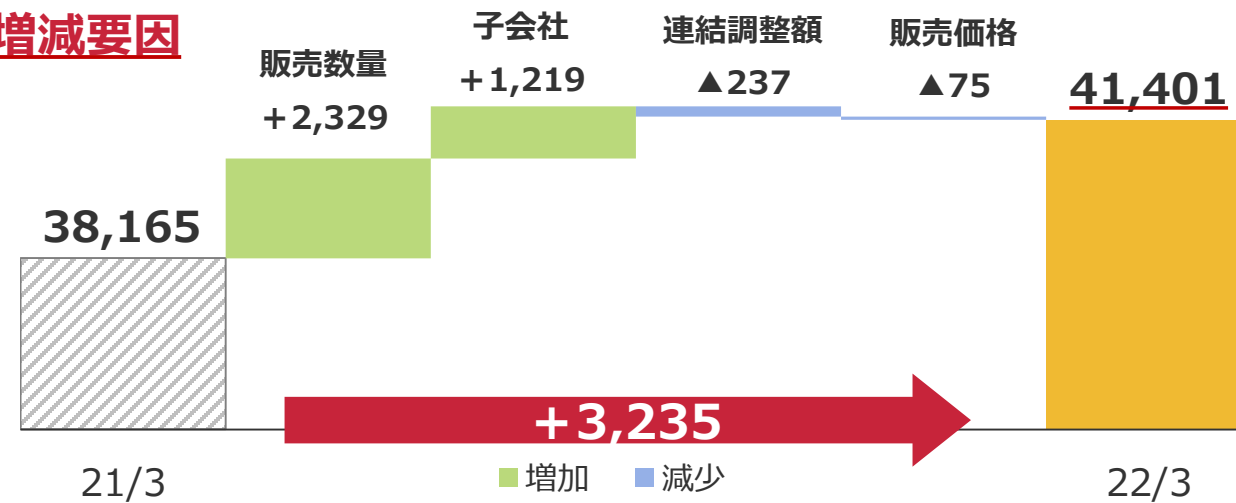
(※) 21年5月19日公表値

(※)

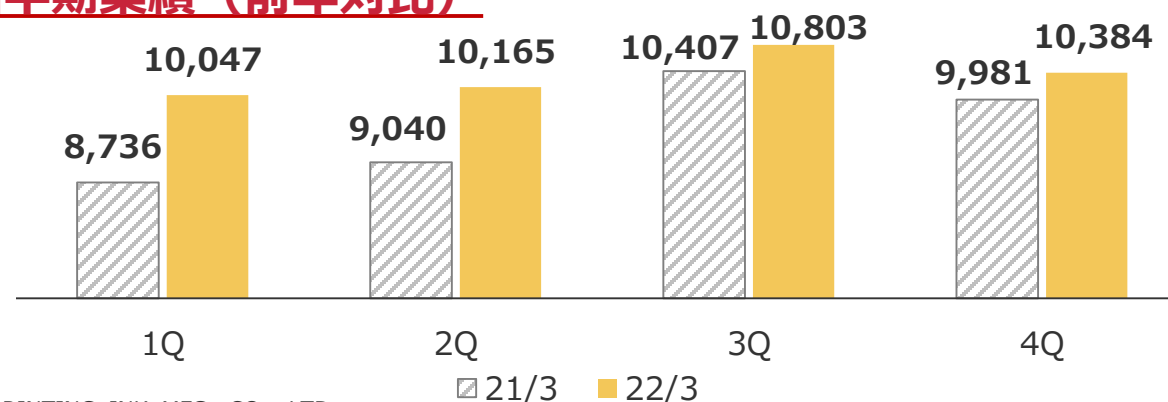
中期経営計画「TOKYOink 2020」初年度からの推移を記載

● 新型コロナウイルス感染症の影響により需要が落ち込んだ前年度から販売数量回復、また、荒川塗料工業(株)の連結子会社化が寄与し増収

● 増減要因



● 四半期業績 (前年対比)



1. 22年3月期 連結業績ハイライト

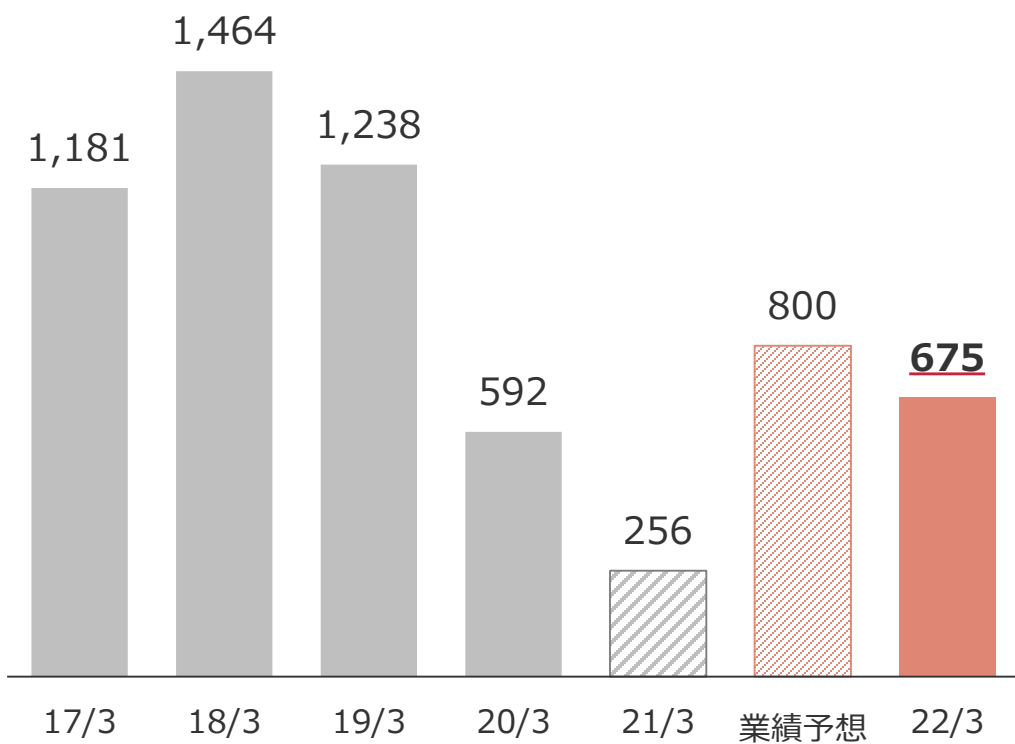
(単位：百万円)

営業利益

675百万円

前年比 **+419**百万円 (+163.2%)

業績予想比 **▲124**百万円 (▲15.5%)

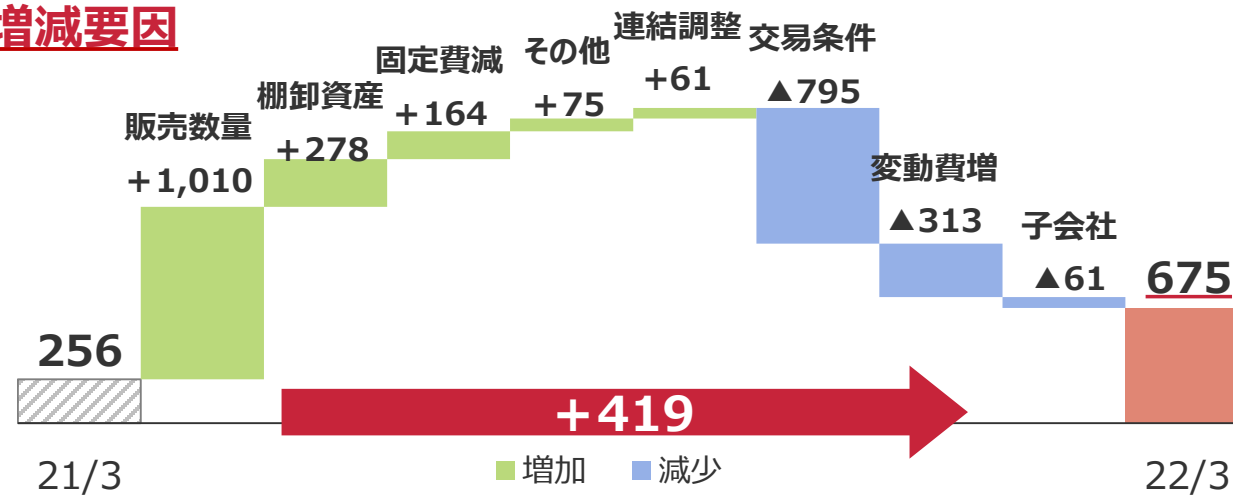


(※) 21年5月19日公表値

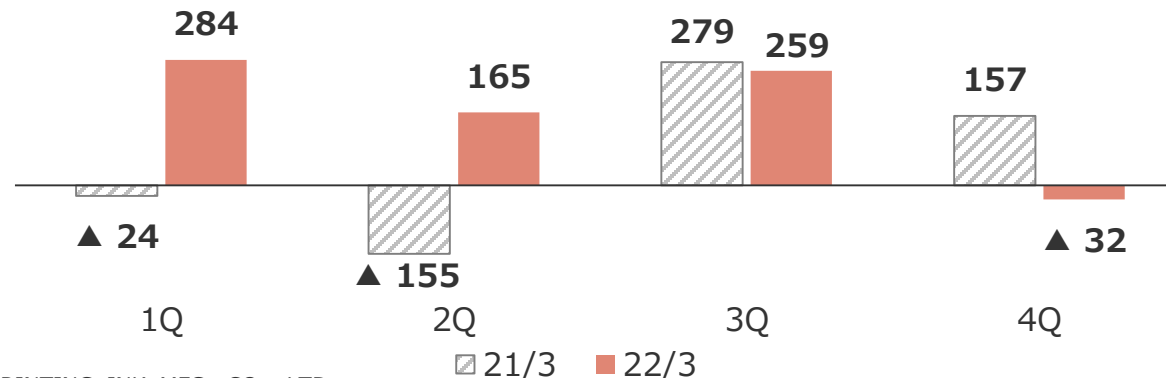
(※)

● インキ事業及び化成品事業は新型コロナウイルス感染症による影響からの需要一部回復、全社的な経費節減等コストダウン効果もあり増益となるも、第3四半期以降の原材料価格高騰の影響により交易条件が悪化

● 増減要因



● 四半期業績 (前年対比)



1. 22年3月期 連結業績ハイライト

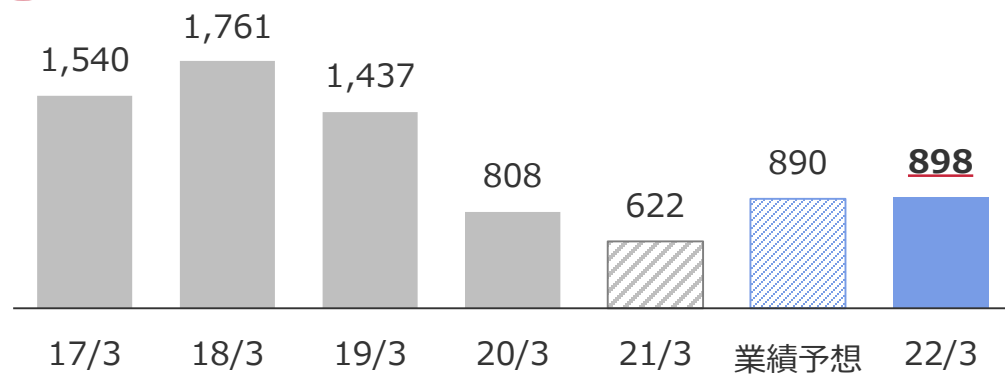
- 経常利益は、売上高、営業利益が前年度より一定程度回復したことに伴い、増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は前年度に計上した「負ののれん発生益」がなくなったが、税金費用等の減少もあり増益

(単位：百万円)

経常利益

898百万円

前年比 **+276**百万円 (+44.4%)
業績予想比 **+8**百万円 (+0.9%)



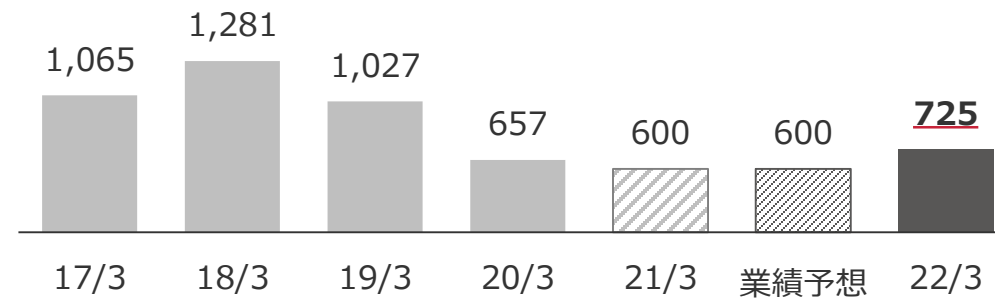
(※) 21年5月19日公表値

(※)

親会社株主に帰属する 当期純利益

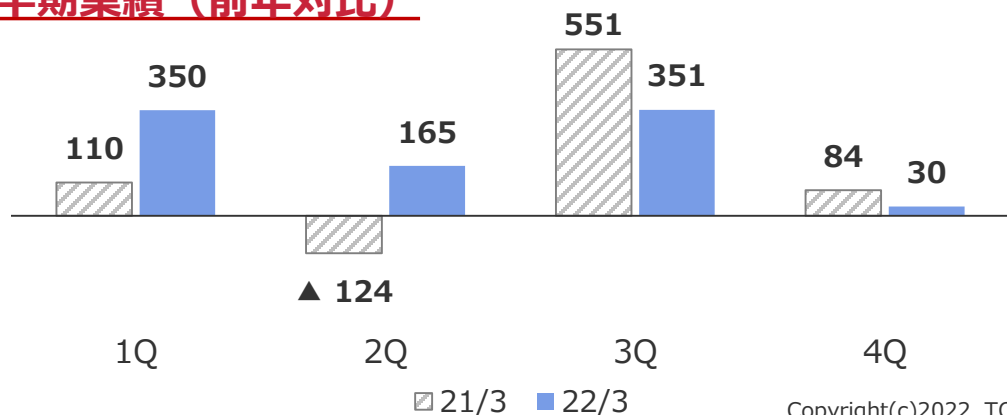
725百万円

前年比 **+125**百万円 (+20.9%)
業績予想比 **+125**百万円 (+21.0%)

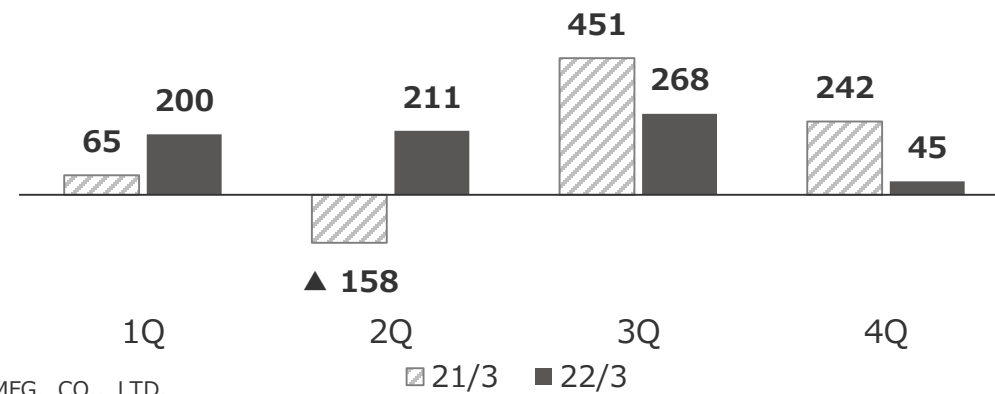


(※)

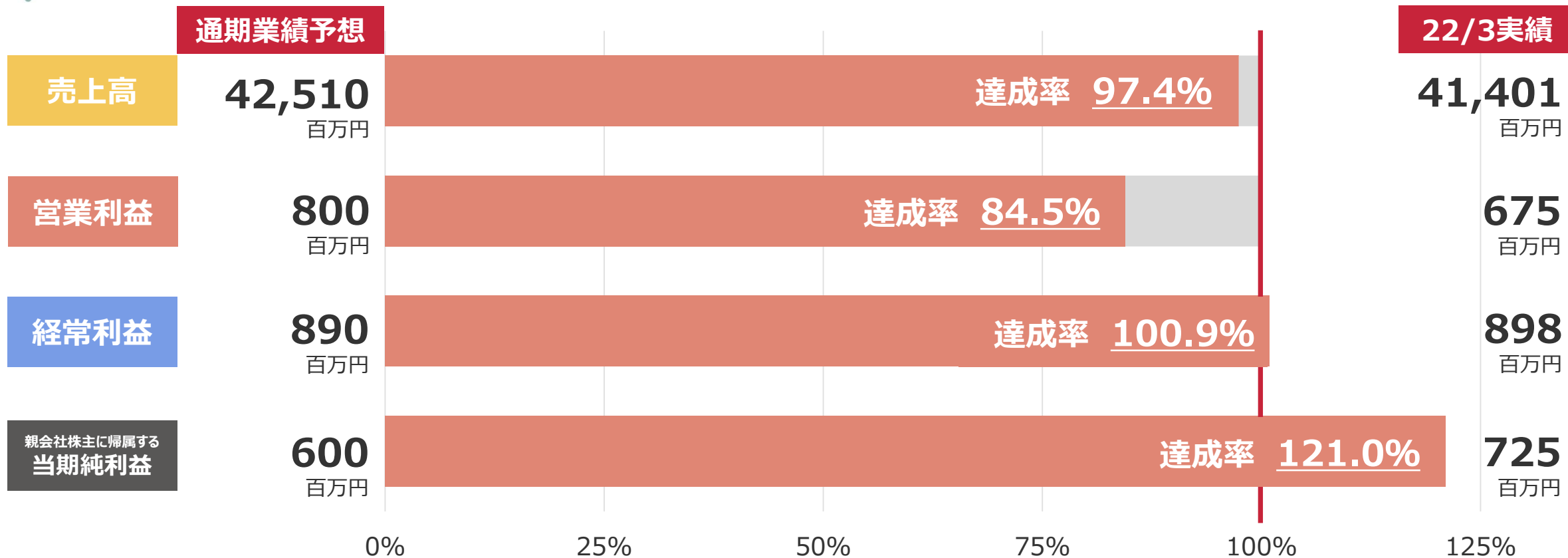
● 四半期業績 (前年対比)



● 四半期業績 (前年対比)



1. 22年3月期 通期連結業績予想に対する達成結果 TOKYOink



- 売上高はインキ事業および加工品事業が当初見込みより下回ったため若干未達成
- 営業利益は第3四半期以降の原油高を背景にした原材料価格の高騰を販売価格に十分反映できなかったこと、および一部の連結子会社の業績悪化等により未達成
- 経常利益は営業外収益の米国連結子会社からの出資分配益等が当初見込みより上回り、達成
- 親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券の売却等の影響もあり、業績予想を大幅に上回る結果

1. 連結業績ハイライト

2. セグメントの概況



3. その他連結決算情報

4. 株主還元

5. 次期業績予想

6. 参考情報

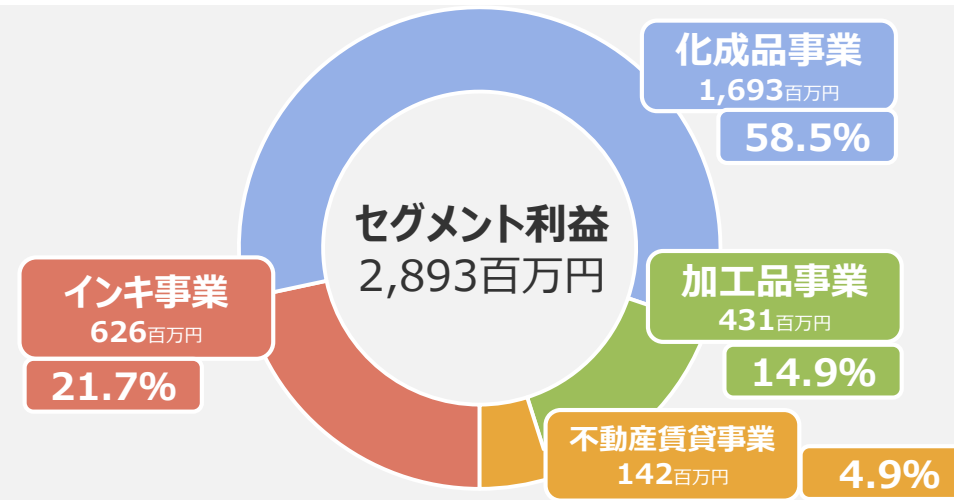
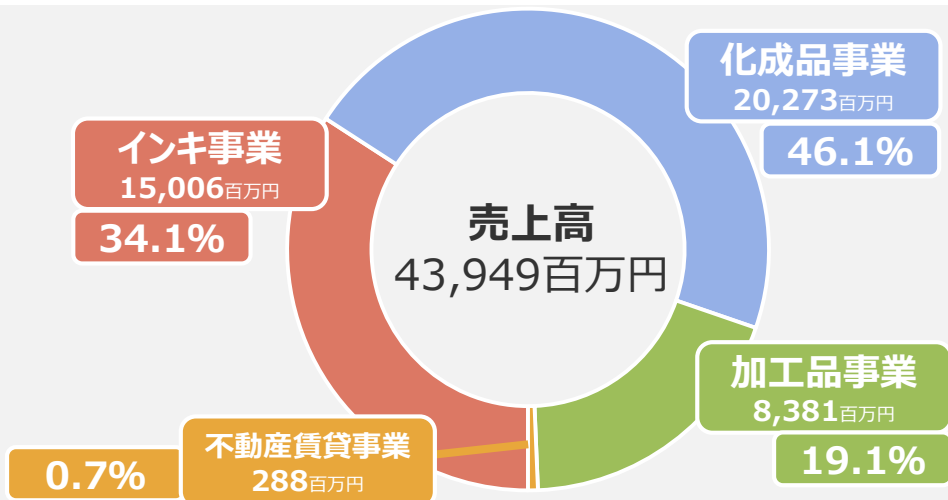
- > 22年3月期 セグメント別業績サマリー
- > 22年3月期 インキ事業
- > 22年3月期 化成品事業
- > 22年3月期 加工品事業
- > 22年3月期 不動産賃貸事業

2. 22年3月期 セグメント別業績サマリー

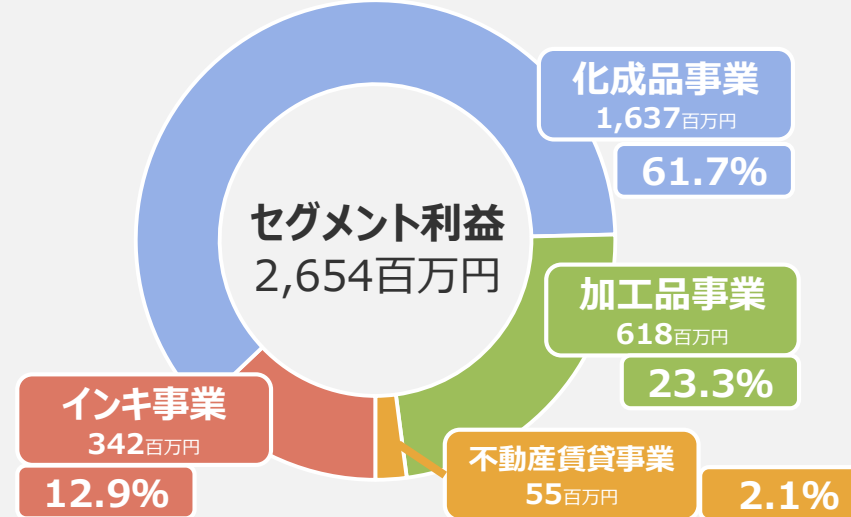
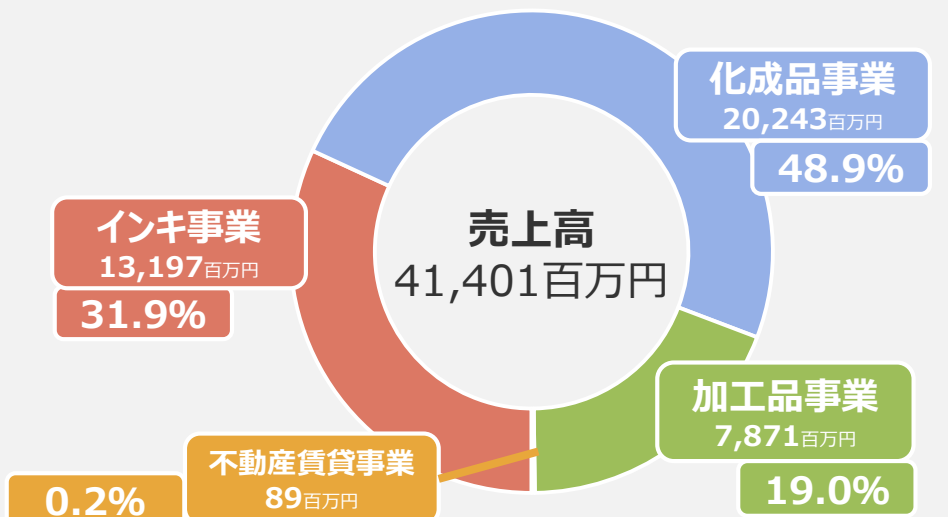
売上高 構成比

セグメント利益 構成比

17年3月期



22年3月期



2. 22年3月期 インキ事業

中期経営計画「TOKYOink 2020」初年度からの推移を記載 (単位：百万円)

インキ



● オフセットインキ

- ・印刷物市況 (折込チラシ、旅行関連、イベント企画) が一定回復
- ・第3四半期から原材料価格高騰

● グラビアインキ

- ・環境対応インキ (ライスインキ・バイオマスインキなど) が堅調に推移
- ・機能性インキ (バリア剤など) が堅調に推移
- ・行楽・イベント関連需要が一定回復
- ・第3四半期から原材料価格高騰

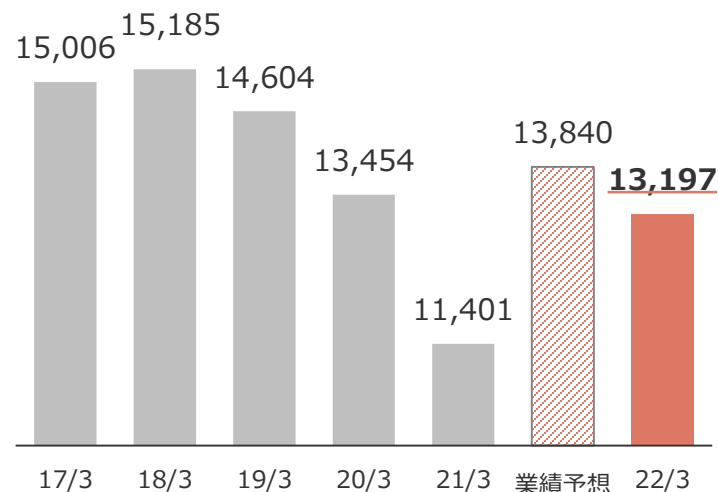
● インクジェットインク

- ・北米、EU諸国向け受託製品の需要が一定回復
- ・建材用途・メディカル用途が伸長

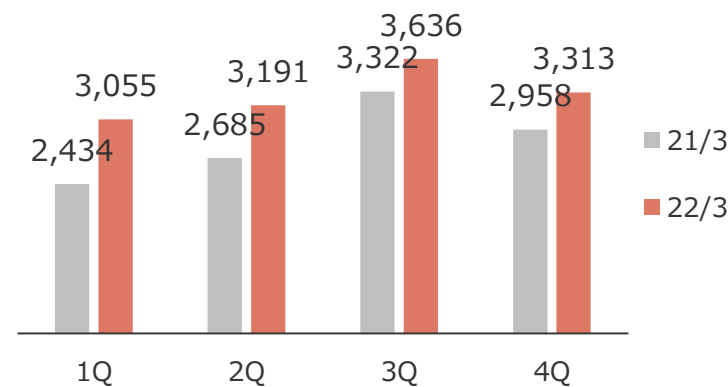


売上高 **13,197**百万円

前年比 **+1,796**百万円 (+15.8%)
業績予想比 **▲642**百万円 (▲4.6%)



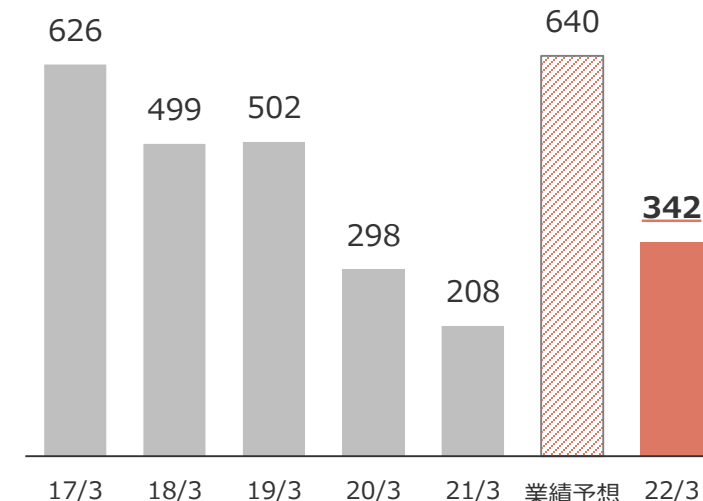
● 四半期(前年対比)売上高



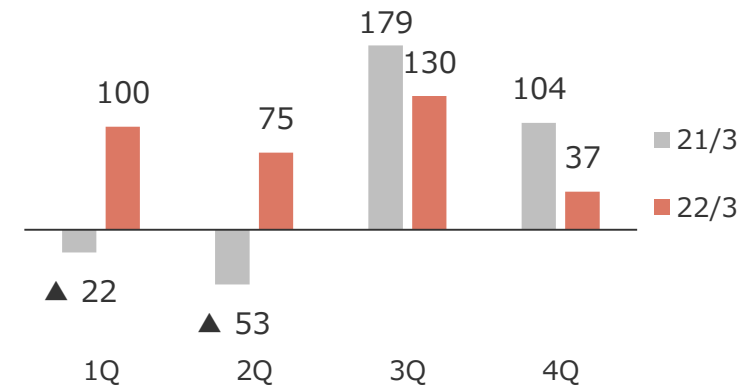
Copyright(c)2022 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

セグメント利益 **342**百万円

前年比 **+134**百万円 (+64.7%)
業績予想比 **▲297**百万円 (▲46.4%)



● 四半期(前年対比)セグメント利益



2. 22年3月期 化成品事業

(単位：百万円)

化成品

● マスターバッチ・樹脂コンパウンド

・着色剤・添加剤等のマスターバッチは国内自動車メーカーの減産対応の影響を受けたものの、衣料品、化粧品、日用品向けなどの一般包装資材関係が一定回復

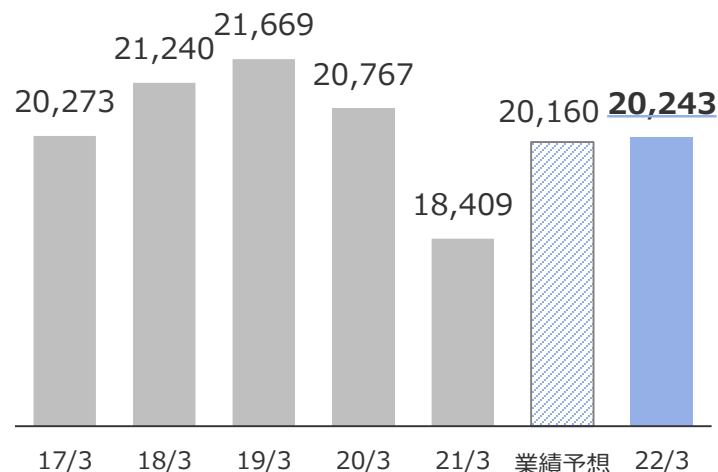
・樹脂コンパウンドは自動車用途において一定回復も電子機器関係、OA機器関係及び日用品等が低調に推移

・第3四半期から原材料価格高騰



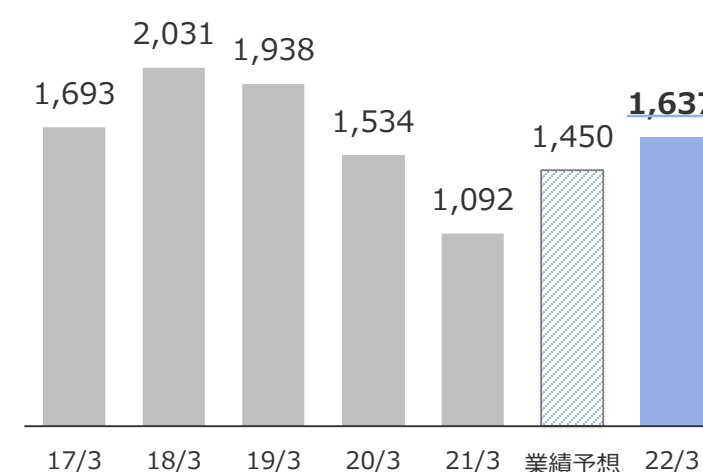
売上高 **20,243**百万円

前年比 **+1,833**百万円 (+10.0%)
業績予想比 **+83**百万円 (+0.4%)

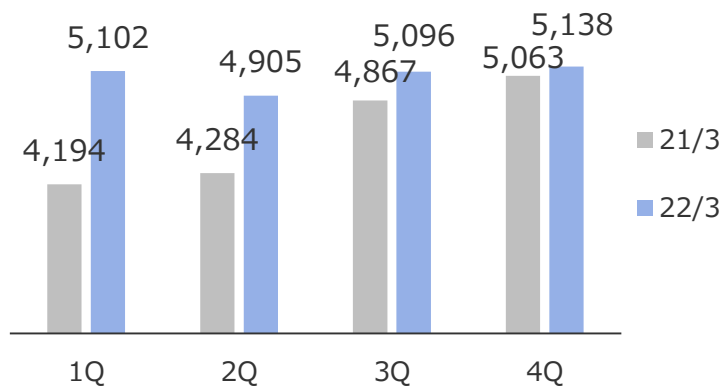


セグメント利益 **1,637**百万円

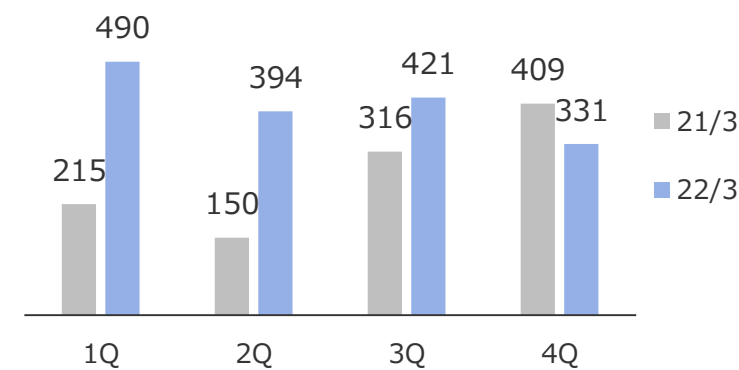
前年比 **+545**百万円 (+50.0%)
業績予想比 **+187**百万円 (+13.0%)



● 四半期(前年対比)売上高



● 四半期(前年対比)セグメント利益



2. 22年3月期 加工品事業

TOKYOink

(単位：百万円)

加工品



● ネットン工材

・水処理用資材の輸出需要が伸長

● ネットン包材

・水産向けの需要が一定回復
・環境対応新製品が好評

● 一軸延伸フィルム

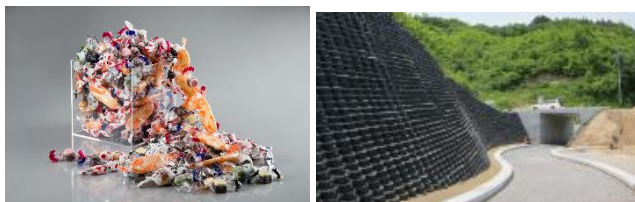
・贈答品包装用途が一定回復
・第3四半期から原材料価格高騰

● 土木資材

・ジオセル及び周辺部材が好調に推移
・災害復興需要が減少

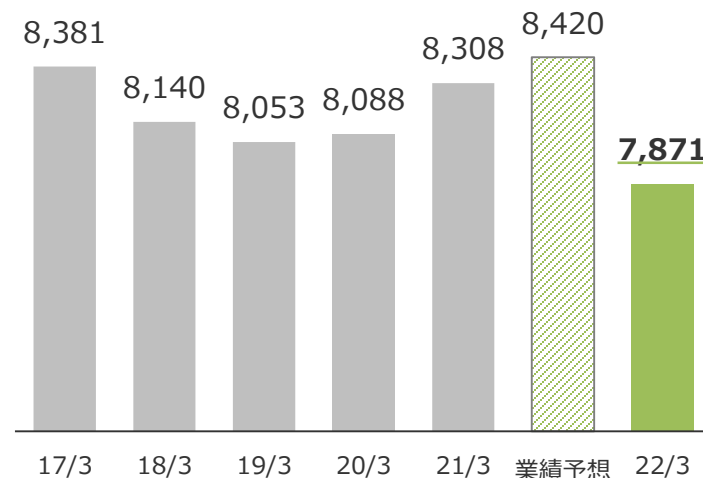
● 農業資材

・高い保温性を有する高機能内張カーテン資材が好調に推移
・国内耕作面積減少継続による全体的な需要減少

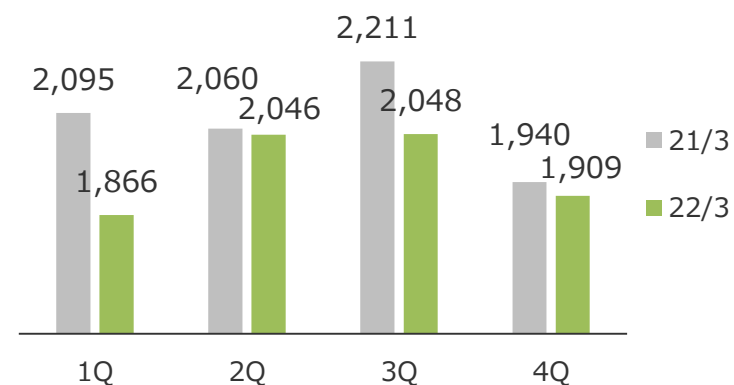


売上高 **7,871**百万円

前年比 ▲437百万円 (▲5.3%)
業績予想比 ▲548百万円 (▲6.5%)



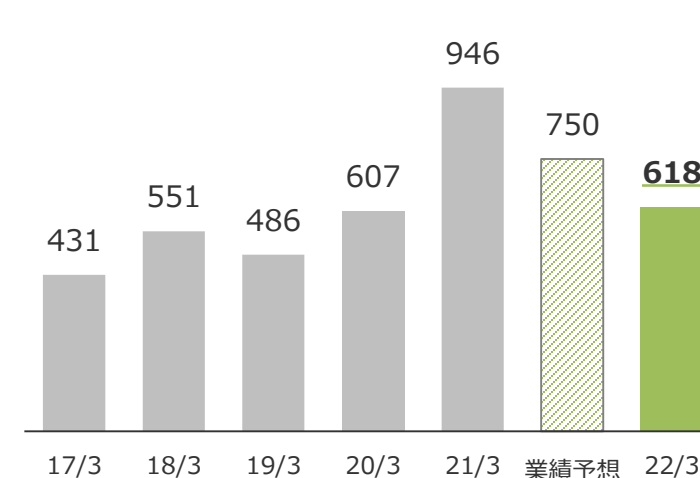
● 四半期(前年対比)売上高



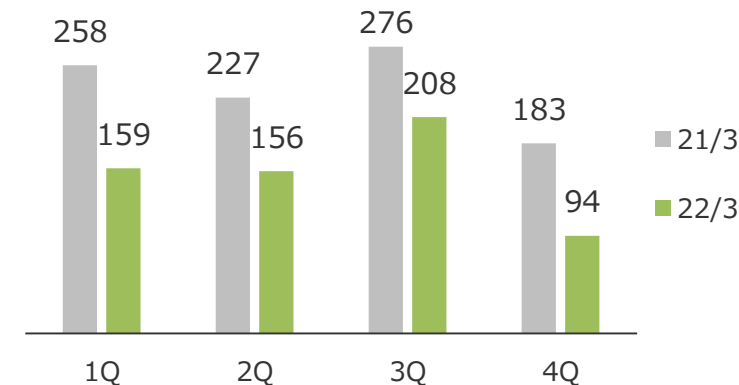
Copyright(c)2022 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

セグメント利益 **618**百万円

前年比 ▲328百万円 (▲34.7%)
業績予想比 ▲131百万円 (▲17.6%)



● 四半期(前年対比)セグメント利益



2. 22年3月期 不動産賃貸事業

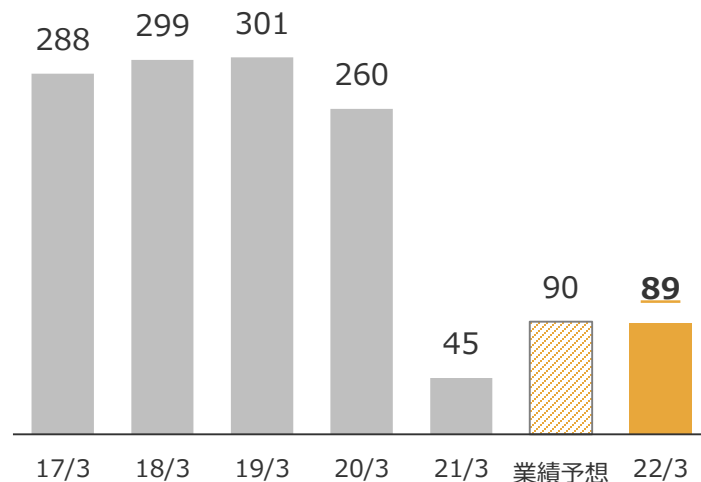
(単位：百万円)

不動産賃貸

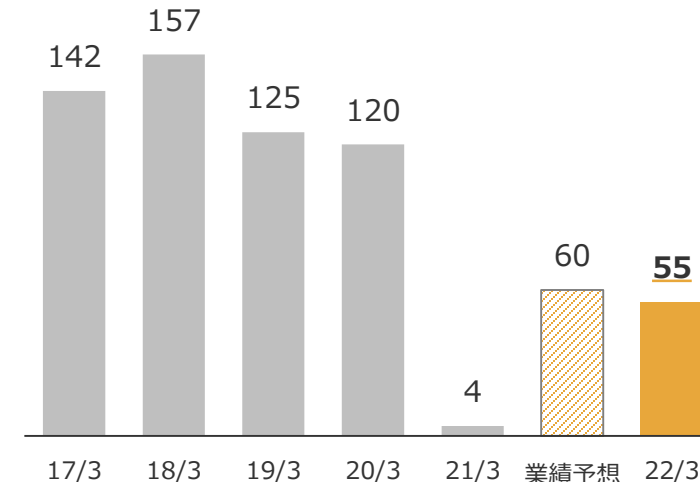
前年度竣工した戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」および本社ビル賃貸オフィス稼働が堅調に推移



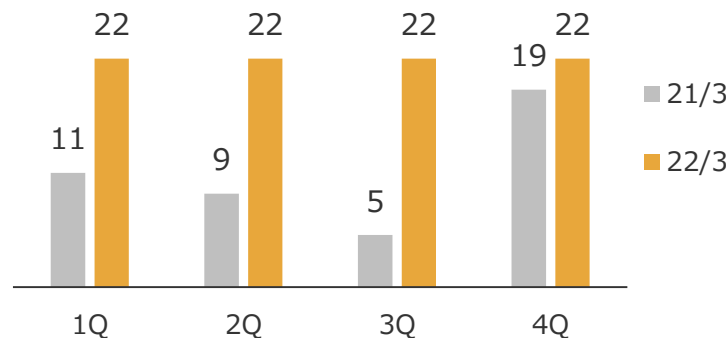
売上高 **89**百万円
 前年比 **+43**百万円 (+94.4%)
 業績予想比 **▲0**百万円 (▲0.9%)



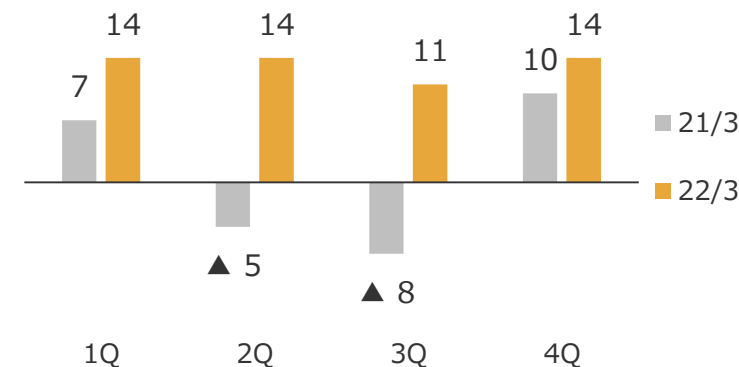
セグメント利益 **55**百万円
 前年比 **+50**百万円 (-%)
 業績予想比 **▲4**百万円 (▲8.0%)



● 四半期(前年対比)売上高



● 四半期(前年対比)セグメント利益



1. 連結業績ハイライト

2. セグメントの概況

3. その他連結決算情報



4. 株主還元

5. 次期業績予想

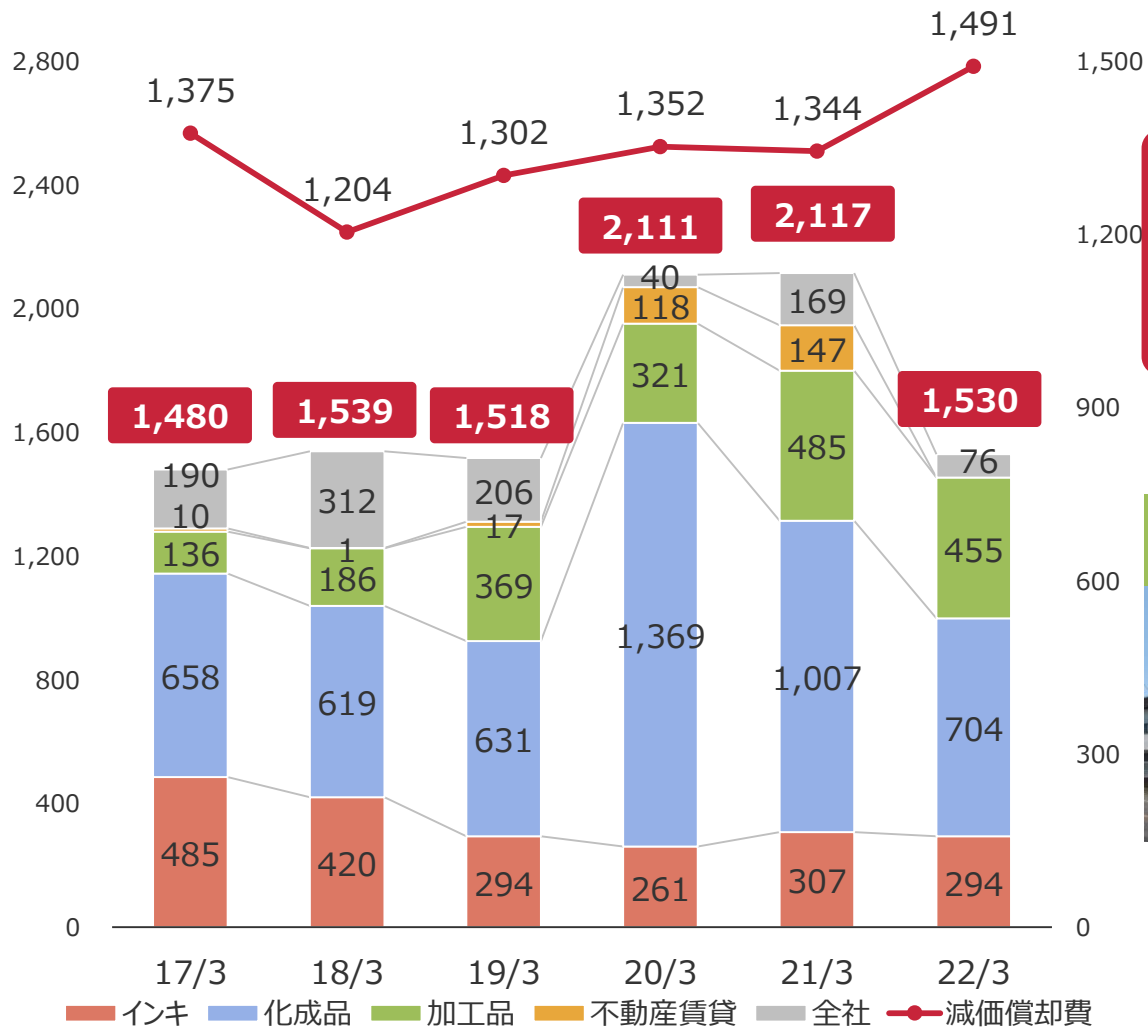
6. 参考情報

- > 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- > 連結貸借対照表
- > ROE・ROS・自己資本比率
- > D/Eレシオ
- > 連結キャッシュ・フロー

3. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

設備投資額・減価償却費

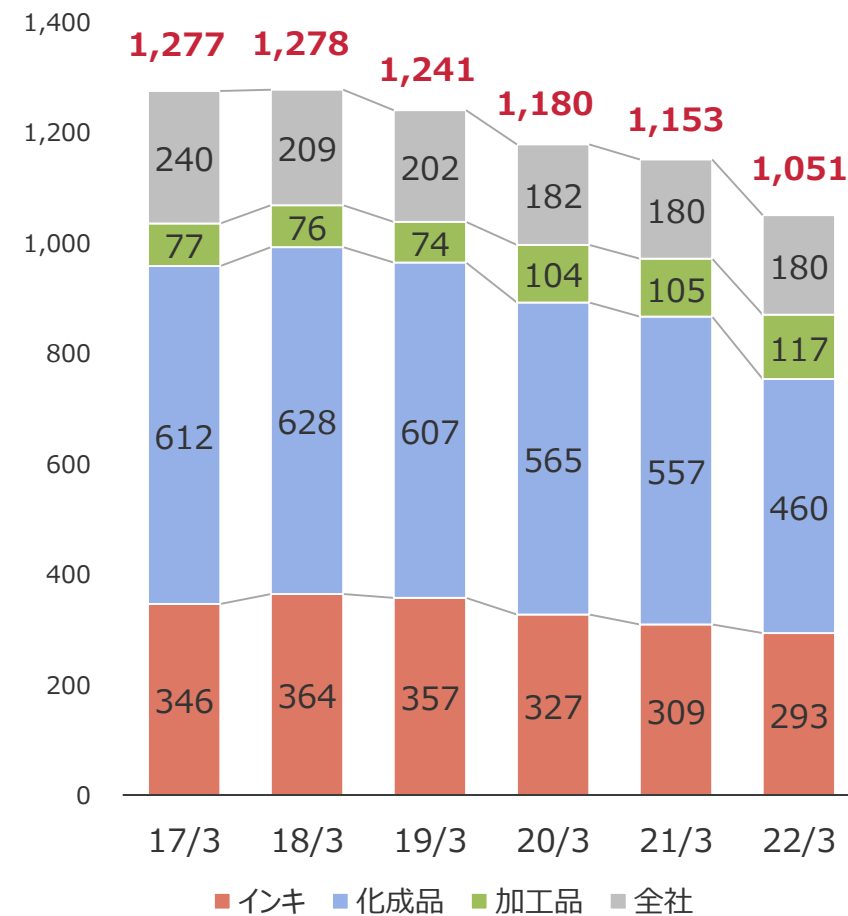


中期経営計画
「TOKYOink2020」
(17/3~22/3)に
おける設備投資額
102億円



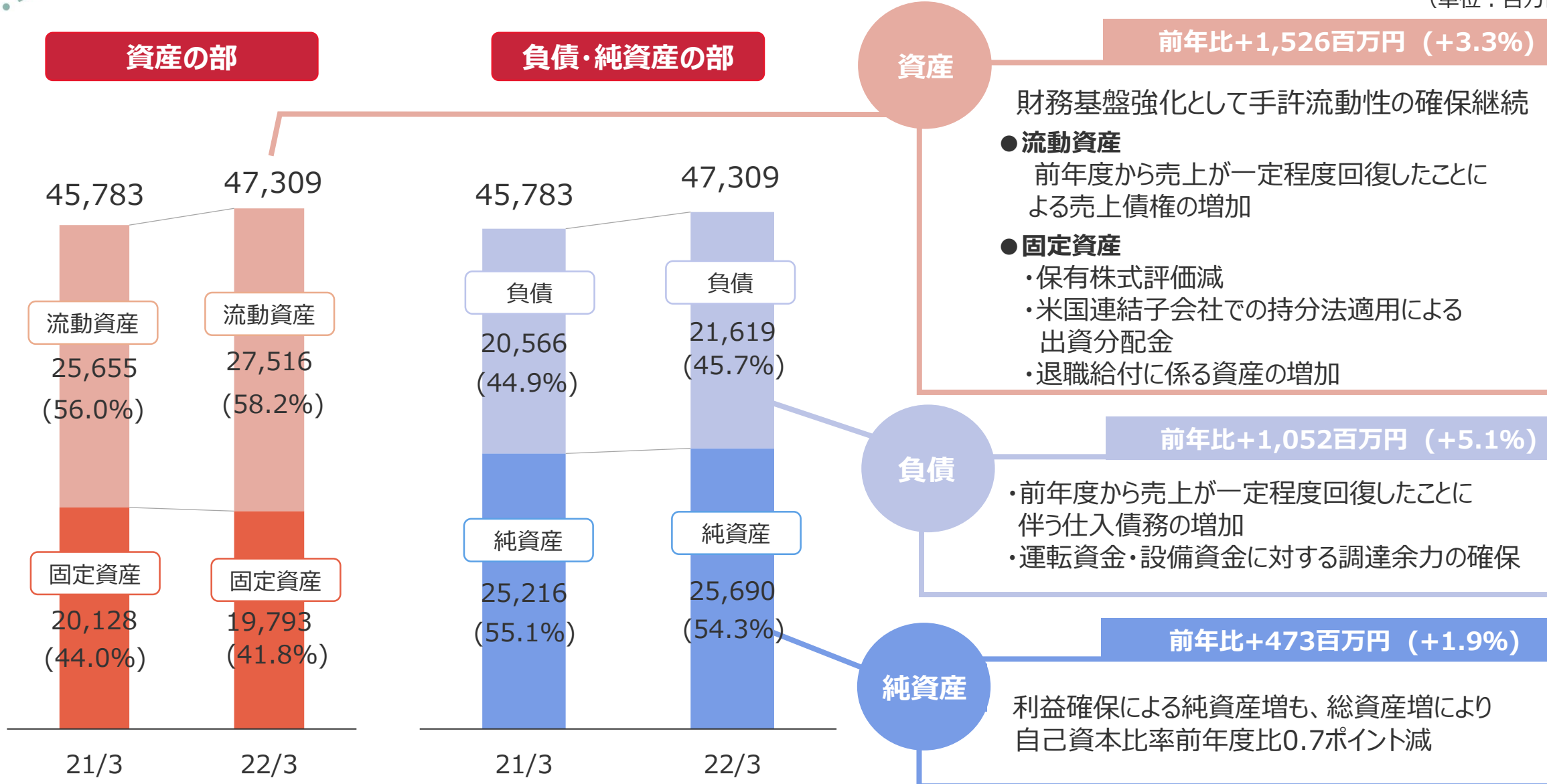
21年5月竣工

研究開発費



3. 連結貸借対照表

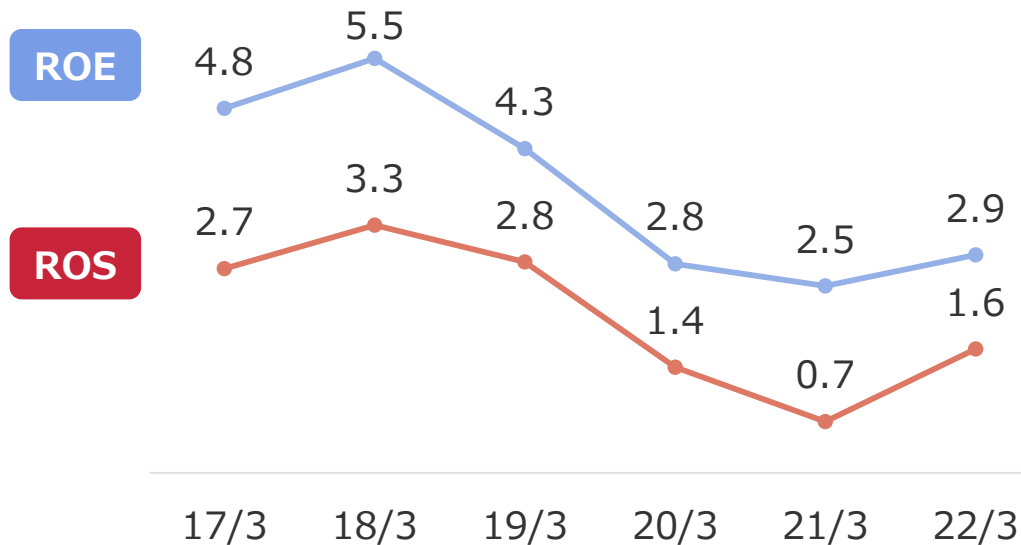
(単位：百万円)



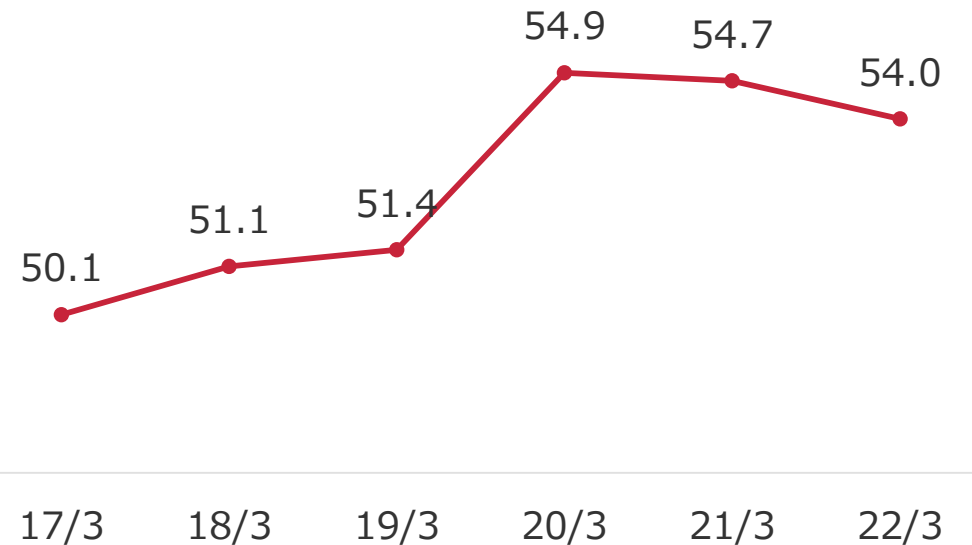


3. ROE・ROS・自己資本比率

ROE・ROS



自己資本比率



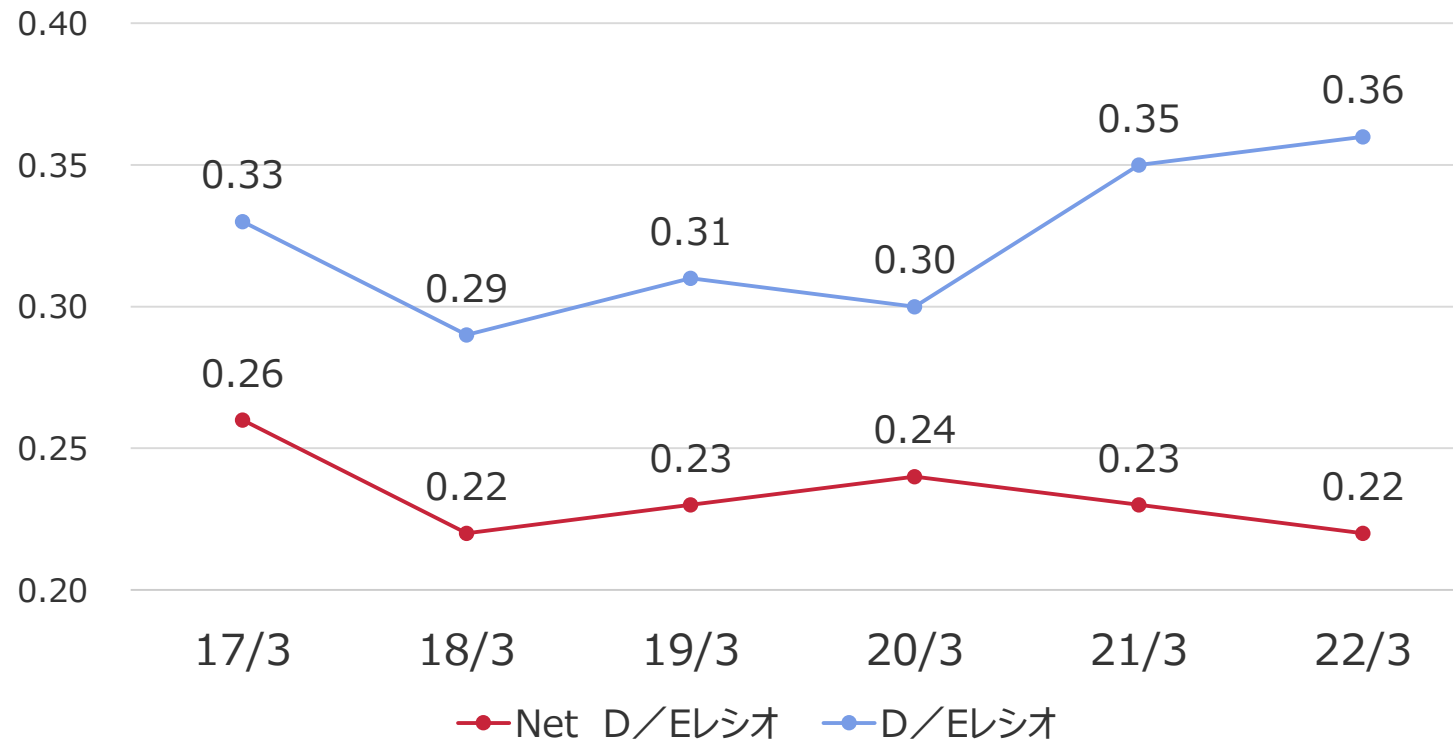
ROE (自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ (純資産 - 非支配株主持分)

ROS (売上高利益率) = 営業利益 ÷ 売上高



3. D/Eレシオ

運転資金・設備資金借入額の増加によりD/Eレシオが前年度に引き続き上昇傾向も、
現預金等手許資金を月商の過半数超の水準に維持することで、ネットD/Eレシオは低下傾向

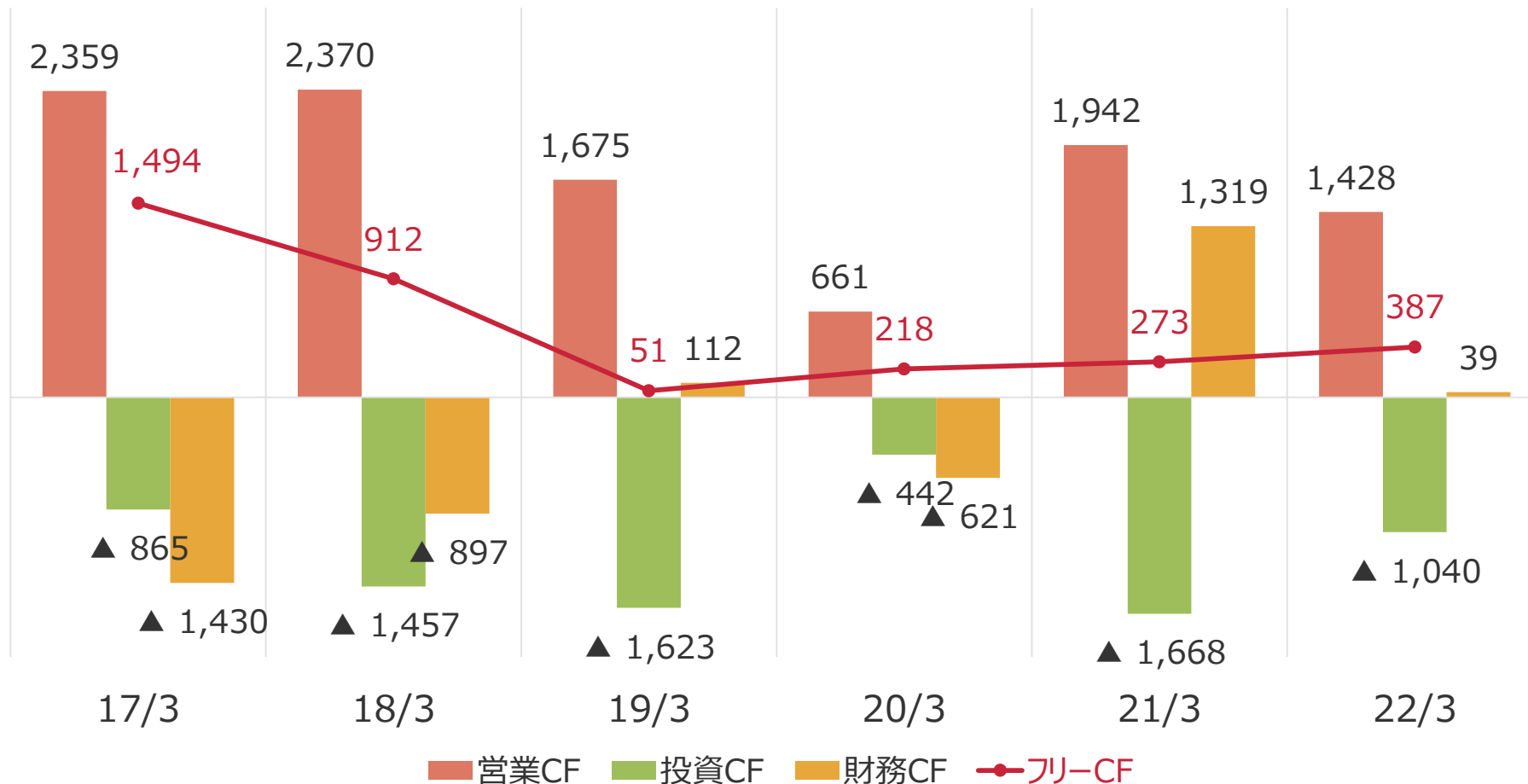


D/Eレシオ：有利子負債／自己資本

ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本

3. 連結キャッシュ・フロー

- 前年度はM&A等成長戦略投資の支出が増加
- 当年度はコロナ禍影響が大きかった前年度と比較し一定程度回復した利益をベースに、手許流動性確保の継続と事業投資を実施した結果、フリー・キャッシュ・フローが若干増加



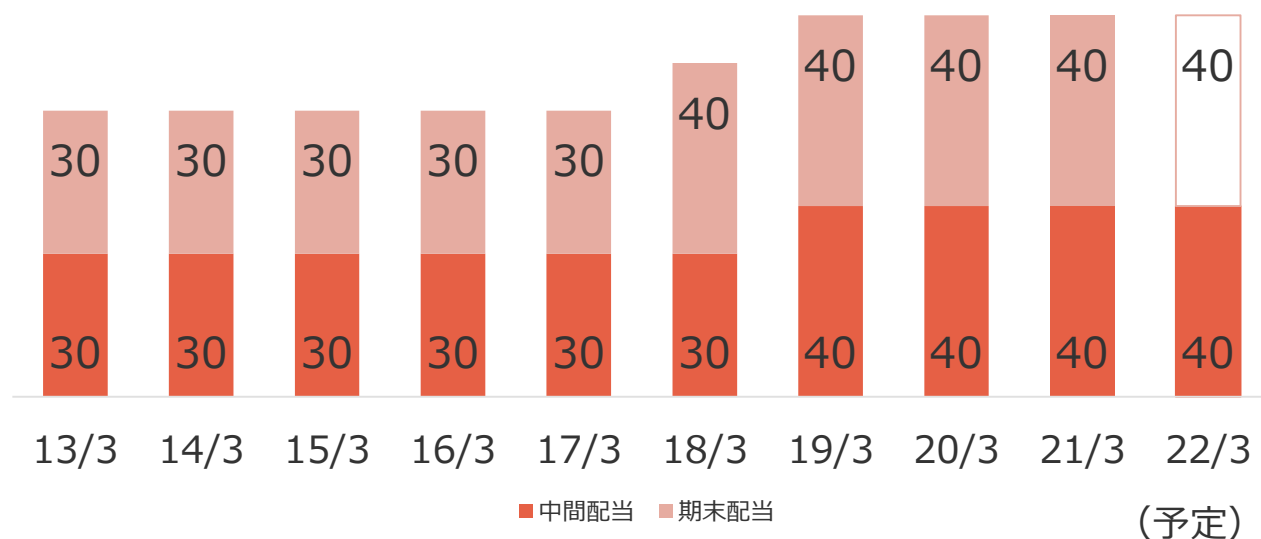
1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報
- 4. 株主還元**
5. 次期業績予想
6. 参考情報

4. 株主還元

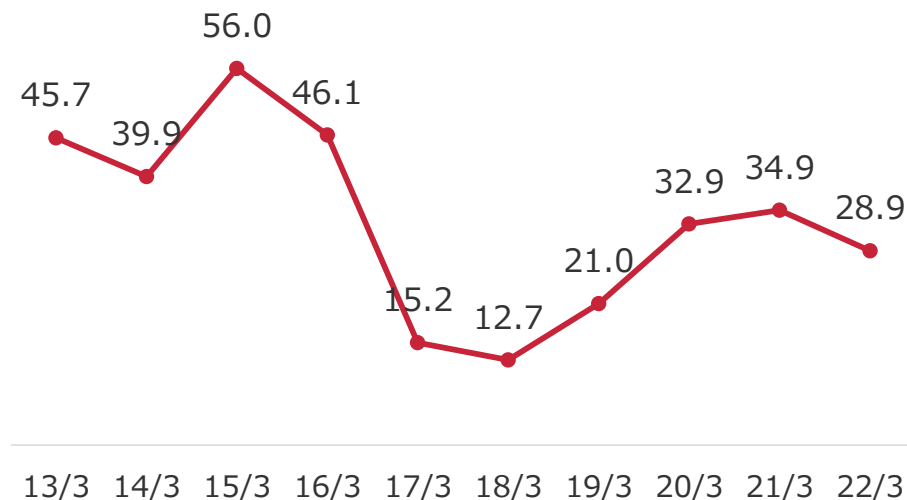
経営基盤の強化ならびに今後の企業価値向上へ向けた内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、安定かつ継続的に配当することを基本方針としております。

22年3月期の年間配当金は**1株当たり80円**を予定としております。

配当金



配当性向



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正

新中期経営計画「TOKYOink 2024」における配当方針として、配当性向30%以上を目標としております。

4. 株主還元

株主優待制度の変更及び新設

株主優待制度の基準日を変更するほか、より多くの方々へ中長期的に当社株式をお持ちいただけるよう、長期保有株主様向け株主優待制度を新設いたしました。



2022年3月31日現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上保有の株主様から対象となります。

株主優待制度	変更前	変更後	新設
基準日	毎年9月30日	毎年3月31日	
保有株式数	100株以上	100株以上 (変更無し)	300株以上かつ3年以上(※)保有の場合、 さらに
株主優待制度の内容	オリジナルクオカード 1,000円分	オリジナルクオカード 1,000円分 (変更無し)	オリジナルクオカード1,000円分を贈呈

(※)3年前から当年までのすべての基準日において、株主番号が継続して同一の株主様

1. 連結業績ハイライト
 2. セグメントの概況
 3. その他連結決算情報
 4. 株主還元
 - 5. 次期業績予想**
 6. 参考情報
- 

5. 次期業績予想

長期化している新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況に加え、地政学的リスクの高まりが世界中の経済・社会活動に大きな影響を及ぼしており、生活に密接に関連した製品を多岐に渡り展開している当社グループも大きな影響を受けております。そのような状況下において、当社グループは2022年度から前中期経営計画の成果および積み残し課題を踏まえ策定した3カ年の新中期経営計画「TOKYOink 2024」をスタートさせました。

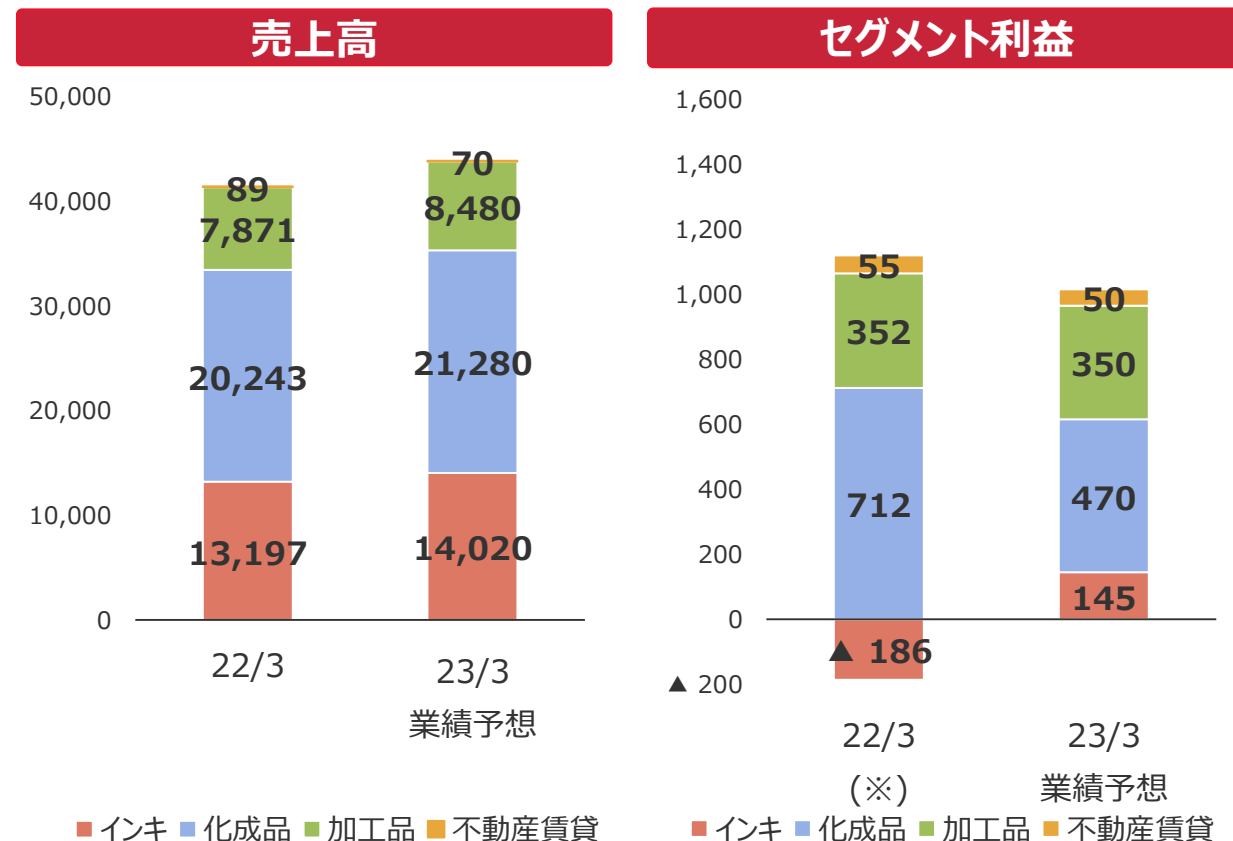
原油高などに起因する原材料価格高騰が進んでおり、厳しい経済環境ではありますが、持続的に成長できる企業になるために環境問題への長期的な取り組みや、外部環境変化に対応できる企業構造への変革を進めてまいります。

なお、新中期経営計画の初年度に当たる次期連結会計年度の業績予想につきましては、下記の通り見込んでおります。

次期業績予想	売上高	セグメント利益
インキ事業	14,020	145
化成品事業	21,280	470
加工品事業	8,480	350
不動産賃貸事業	70	50
セグメント合計	43,850	1,015
全社費用他(※)	—	▲290
連結合計	43,850	725

次期業績予想は当連結会計年度末時点であり、見通しに用いた仮定に不確実性があるため、状況に変化が生じる可能性があります。

(※)23年3月期より全社費用の区分を見直しております。それに伴い、22年3月期における各事業のセグメント利益を区分見直し後の数値に置き換えております。

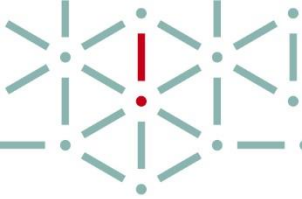


1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報
4. 株主還元
5. 次期業績予想
- 6. 参考情報**



6.【参考情報】22年3月期 連結損益計算書（前年対比）

	21年3月期	構成比 (%)	22年3月期	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	業績予想 21年5月19日公表値	増減額	増減率 (%)
売上高	38,165	100.0	41,401	100.0	+3,235	+8.5	42,510	▲1,108	▲2.6
売上原価	31,969	83.8	34,650	83.7	+2,680	+8.4	—	—	—
売上総利益	6,195	16.2	6,751	16.3	+555	+9.0	—	—	—
販売費及び一般管理費	5,939	15.6	6,075	14.7	+136	+2.3	—	—	—
営業利益	256	0.7	675	1.6	+419	+163.2	800	▲124	▲15.5
営業外損益	365	1.0	222	0.5	▲142	▲39.1	—	—	—
経常利益	622	1.6	898	2.2	+276	+44.4	890	+8	+0.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	600	1.6	725	1.8	+125	+20.9	600	+125	+21.0
ROE(自己資本利益率)	2.5	—	2.9	—	+0.4	—	—	—	—
EPS(一株当たり当期純利益)	228.94	—	276.77	—	+47.83	—	—	—	—



6.【参考情報】22年3月期 第1～第4四半期 連結業績推移（前年対比）

TOKYOink

（単位：百万円）

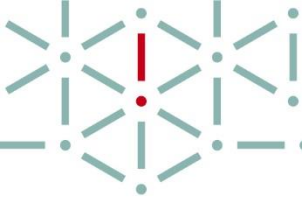
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	20/4～6	21/4～6	20/7～9	21/7～9	20/10～12	21/10～12	21/1～3	22/1～3	20/4～21/3	21/4～22/3
売上高	8,736	10,047	9,040	10,165	10,407	10,803	9,981	10,384	38,165	41,401
営業利益(損失)	▲ 24	284	▲ 155	165	279	259	157	▲ 32	256	675
経常利益(損失)	110	350	▲ 124	165	551	351	84	30	622	898
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	65	200	▲ 158	211	451	268	242	45	600	725

6.【参考情報】22年3月期 事業別セグメント情報 売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

報告セグメント	売上高				セグメント利益			
	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率 (%)	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率 (%)
インキ事業	11,401	13,197	+1,796	+15.8	208	342	+134	+64.7
化成品事業	18,409	20,243	+1,833	+10.0	1,092	1,637	+545	+50.0
加工品事業	8,308	7,871	▲437	▲5.3	946	618	▲328	▲34.7
不動産賃貸事業	45	89	+43	+94.4	4	55	+50	—
セグメント合計	38,165	41,401	+3,235	+8.5	2,251	2,654	+402	+17.9
全社費用他 ※					▲ 1,994	▲ 1,978	+ 16	—
連結営業利益					256	675	+419	+163.2

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

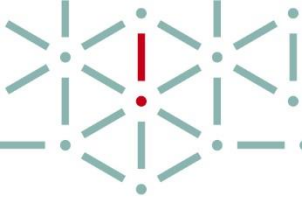


6.【参考情報】22年3月期 セグメント売上高 第1～第4四半期推移（前年対比）

TOKYOink

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	20/4～6	21/4～6	20/7～9	21/7～9	20/10～12	21/10～12	21/1～3	22/1～3	20/4～21/3	21/4～22/3
インキ事業	2,434	3,055	2,685	3,191	3,322	3,636	2,958	3,313	11,401	13,197
化成品事業	4,194	5,102	4,284	4,905	4,867	5,096	5,063	5,138	18,409	20,243
加工品事業	2,095	1,866	2,060	2,046	2,211	2,048	1,940	1,909	8,308	7,871
不動産賃貸事業	11	22	9	22	5	22	19	22	45	89
セグメント合計	8,736	10,047	9,040	10,165	10,407	10,803	9,981	10,384	38,165	41,401

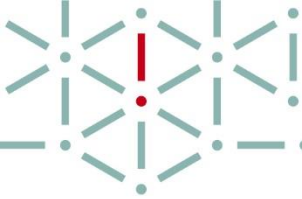


6.【参考情報】22年3月期 セグメント利益 第1～第4四半期推移（前年対比）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	20/4～6	21/4～6	20/7～9	21/7～9	20/10～12	21/10～12	21/1～3	22/1～3	20/4～21/3	21/4～22/3
インキ事業	▲ 22	100	▲ 53	75	179	130	104	37	208	342
化成品事業	215	490	150	394	316	421	409	331	1,092	1,637
加工品事業	258	159	227	156	276	208	183	94	946	618
不動産賃貸事業	7	14	▲ 5	14	▲ 8	11	10	14	4	55
セグメント利益	459	764	319	639	764	772	708	477	2,251	2,654
全社費用他	▲ 483	▲ 480	▲ 475	▲ 474	▲ 484	▲ 512	▲ 551	▲ 510	▲ 1,994	▲ 1,978
連結 営業利益(損失)	▲ 24	284	▲ 155	165	279	259	157	▲ 32	256	675

6.【参考情報】22年3月期 連結貸借対照表

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率 (%)
流動資産	25,655	27,516	+1,861	+7.3
固定資産	20,128	19,793	▲334	▲1.7
有・無形固定資産	14,636	14,640	+4	+0.0
投資その他	5,492	5,153	▲339	▲6.2
資産合計	45,783	47,309	+1,526	+3.3
流動負債	15,032	16,322	+1,289	+8.6
固定負債	5,533	5,296	▲237	▲4.3
負債合計	20,566	21,619	+1,052	+5.1
純資産合計	25,216	25,690	+473	+1.9
(自己資本比率)	54.74%	53.99%	▲0.75	-
負債・純資産合計	45,783	47,309	+1,526	+3.3



6.【参考情報】22年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

摘要	21年3月期	22年3月期	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	1,942	1,428	▲513
II.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲1,668	▲1,040	+628
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	273	387	+114
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	1,319	39	▲1,280
現金同等物の期首残高	1,576	3,161	+1,585
現金同等物の期末残高	3,161	3,622	+460

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。

【お問合せ先】

東京インキ株式会社 管理部門 理財部

TEL : 03-5902-7652

FAX : 03-5390-4937

E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

<https://www.tokyoink.co.jp/>